



ひ し ょ う お か
飛翔の丘

令和5年12月22日(金) 第10号 発行 責任者 校長 大西 展史



～教育理念～

夢をつなぎ、未来を

教育目標
自ら考え
行動する子
他を思いやり
共に成長する子
心身ともにたくましく
成長する子
「十五歳の子供像」
進むべき道を自ら描き、
仲間と関わり合いながら
努力を続ける人

1月行事予定

日	曜	主な行事
1	月	元旦
2	火	学校閉庁日
3	水	学校閉庁日
4	木	学校閉庁日
5	金	安全管理の日
6	土	
7	日	出初式 はたちのつどい
8	月	成人の日
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	9年生登校日 ECレク
13	土	
14	日	
15	月	9年生登校日
16	火	3学期始業式 安全登校日 中国語講座 ノーゲームデー
17	水	
18	木	2年放課後学習サポート スクールカウンセラー来校日
19	金	英語検定1次 1年放課後学習サポート 1年・2年スケート学習
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	1年朝の読み聞かせ 中国語講座 3年放課後学習サポート
24	水	4年生・6年生校内研究授業(6校時) 1～3年、5年、7～9年 5時間授業
25	木	2年放課後学習サポート 3年～6年スケート学習
26	金	常任委員会 道立特別支援学校高等部入学選考検査日 1年放課後学習サポート
27	土	
28	日	
29	月	1年・2年 英語学習
30	火	2年朝の読み聞かせ 3年放課後学習サポート 中国語講座
31	水	クラブ

言葉づかいは心づかい

校長 大西 展史

言葉の力について、子どもから教えられることがあります。例えば、下校する子どもたちの中に「校長先生、さようなら。」と元気な声で言ってくれる子どもがいます。「さようなら。」でもう十分なところですが、「校長先生」という言葉にちょっとした意味を感じます。この子は、あいさつをする「相手」を意識し、「相手」のことを考えてあいさつをしてくれているのかなど。何か特別というわけでもなく、些細な言葉の使い方なのかもしれませんが、何かしらの「心」を感じ取ることができて、とても温かな気持ちになります。

「気持ちのよいあいさつをかわすこと」や「正しい言葉づかいをすること」は学校の大事な目標であり、課題でもあります。子どもたちの生活の中で、言葉の使い方がトラブルの原因になる場合があります。何気ない一言が相手を怒らせたり、不愉快な思いをさせたりしてけんかになることも時にはあります。もちろん、きちんとした正しい言葉づかいや、相手や場に応じた言葉づかいができる子どもはたくさんいます。地域の方とお会いしたときに、正しい言葉であいさつができる子どもがたくさんいます。学園のどの子ども、正しい言葉であいさつができ、相手のことを考えて人と接することができるようになってほしいと願っています。

一方、私たち大人は、子どもたちの心を潤したり、意欲が湧いたりするような言葉づかいや言葉がけをしているのでしょうか。私自身、自分が発した言葉の使い方や伝え方を後悔することが度々あります。一度発したものを引っ込めることはできません。背中子どもを育てるモデルと考えるならば、まずは、大人である私たち自身があいさつや言葉づかいについて考え、洗練

していく必要があります。

そして、社会的な学びの場である学校では、日常の授業における応答や人と人との関わりを通して、子どもたちにいかに「相手」というものを意識させていくことができるか。大人が子どもたちの手本を示すのと同時に、同じ学級の友達はもちろん、異なる学年の子どもや地域の人たちなど、様々な「相手」を意識しながら関わる活動を大切にして、子どもの言葉(=心)を豊かにしていきたいと考えています。

年の瀬を迎え、また新しい年の始まりが近づいてきました。ご家族でゆったりと会話を弾ませる中で、これまでの生活を振り返り、あいさつや言葉づかいを話題に取り上げていただけたら幸いです。

冬季休業日

(12月23日～1月15日)

明日23日(土)から、24日間の冬休みが始まります。冬休みは、年末年始を挟みますので、楽しく充実した時間が過ごせますが、お正月が過ぎると、冬休みも後半に差し掛かります。油断をしていると、3学期の始業式が目の前となってしまうこともあります。一方、冬休みの課題を計画的に進めるとともに、学年の学習内容の復習を基本として、家庭学習に取り組むことで、家庭での学習習慣が身に付く良いチャンスにもなります。この冬休み中に、毎日の学習時間が学年+10分以上(例:5年生なら60分以上、8年生なら90分以上)勉強に取り組む学習習慣が身に付くよう、お家でもお子さんにお声かけ下さい。

防災宿泊研修

11月24日(金)～25日(土)に、7年生が防災宿泊研修を実施しました。庶路学園は、庶路地区の防災施設にも指定されていることもあり、学校運営協議会の委員の方々や、各町内会の方々にもご参加いただきました。初日には、避難場所となる体育館で、参加していただいた地域の方々と一緒に、段ボールベットをつくりました。家庭科調理室で、災害非常食のα米を使い夕食の準備をするなど、災害時に、みんなで協働して活動する大切さを学ぶことができました。その後体育館で宿泊し、2日目は救急救命講座で、釧路市消防本部西消防署白糠支署の支署長にAED講習をしていただきました。今回の体験で防災意識を高め、自ら行動する大切さを実感することができました。



ひじを必ず伸ばすことが大切!

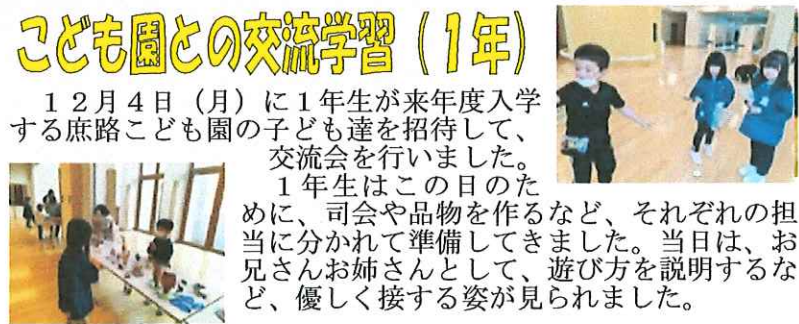
明日の青少年を考える集い

11月26日(日)に、白糠町教育の日の「明日の青少年を考える集い」が白糠町社会福祉センター会議室で開催されました。本校からは4年生の代表児童が総合的な学習の発表と9年生の代表生徒が卒業論文の発表をしました。たくさんの方の観衆の前で堂々と発表し、会場からは大きな拍手が送られていました。地域の方々には本校の10歳の子供像(成長の様子)15歳の子供像を披露する良い機会となりました。



こども園との交流学習(1年)

12月4日(月)に1年生が来年度入学する庶路こども園の子ども達を招待して、交流会を行いました。1年生はこの日のために、司会や品物を作るなど、それぞれの担当に分かれて準備してきました。当日は、お兄さんお姉さんとして、遊び方を説明するなど、優しく接する姿が見られました。



総合的な学習発表会

5年生から8年生は、参観日にあわせて、総合的な学習の発表会を実施しました。多くの方々のご参観ありがとうございました。8年生では、自分の興味・関心が深いことについて問いを見つけ、解決する方法を考え、調査や実験を行い、結果を整理分析したことをまとめて発表することができました。今後は、9年生の卒論発表会に向けて、更に調査や実験を進め、探究レポートを完成させていくことになります。



凧づくり学習

12月20日(水)に、1・2年生の学習で凧作りを行いました。今回も、地域の凧作り同好会の方に凧の作り方の手ほどきやお手伝いしていただきながら凧作りを行うことが出来ました。子どもたちは、出来上がった凧を手にして、とても嬉しそうにしていました。1月17日(水)には、子ども達が作った凧をグラウンドであげる予定です。



ここを中心にしてとめる



図書ボランティア

本校では、地域の方に図書ボランティアをお願いし、図書室の環境整備をしていただいています。おすすめの本の展示や、掲示物を作成するなど、子どもたちに読書の楽しさを伝えようと様々な工夫をしていただいています。



また、季節に合ったものも用意して下さり、今月はクリスマスツリーも寄贈いただきました。いつも、子どもたちのことを考えて、ご協力くださり、ありがとうございます。

クリスマスコンサート

12月21日(木)の昼休みに、音楽部と情操教育の先生が中心となって、クリスマスコンサートを企画しました。校舎内が優しいハンドベルの演奏とクリスマスソングに包まれて、素敵なコンサートになりました。



音楽部によるハンドベル演奏



庶路学園教職員合唱団

アイスクャンドル点灯式

地域の方が子どもたちに冬を楽しんでほしいとアイスクャンドルを作ってください、12月21日(木)にアイスクャンドルに火を入れました。17:00を過ぎると玄関前は、イルミネーションとアイスクャンドルが互いを引き立て、一足早いクリスマス気分を味わうことができました。



みんなでハートの形に並べて、ローソクに点火しました。

ご相談ください

誰にでも、得意なことや苦手を感じることもあると思います。「がんばっているのに、うまくできないな。どうしたら、うまくいくかなあ。」等、学習面や生活面でお子さんのことで気になっていること、不安に感じている方は、お気軽に担任や特別支援コーディネーターにご相談ください。

特別支援コーディネーターは、増田絵梨香と新川史康です。